

# パントマイムの奥深さを知ろう

## ドラマ・テクニクコース パントマイム

### 目的

- ・パントマイムの面白さ、奥深さを学び、身体と心がつ表現力を豊かにする。

### 効果

- ・感情や気持ちを表現する時の羞恥心や緊張を和らげ、改善するコツを学ぶ。

### 到達点

- ・表現することの面白さ、大切さを学ぶとともに、感情表現を習得することによりコミュニケーションを豊かにし、よりよい人間関係を構築する。



### 事前学習

パントマイムのDVDやインターネットを見て、パントマイムのイメージをとらえておく。

### ワークショップの流れ（2日間×2コマ/日）

ウォーミングアップとパントマイム実演鑑賞

↓  
パントマイムの講義と、パントマイム「壁」の演習

↓  
パントマイム「壁」を1人ずつ発表

↓  
パントマイム「つなひき」「風船」「ボール受け渡し」の演習

↓  
パントマイム「つなひき」「風船」の発表

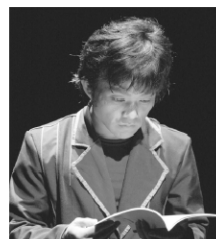
↓  
講師の実演鑑賞

↓  
パントマイムの寸劇演習

↓  
発表と質疑応答

### 事後学習

発表を撮影したビデオを観て合評する。



講師 いむら なおき

### 略歴

マイム俳優

兵庫県立宝塚北高等学校演劇科卒業。1991年単身渡仏。パリ市マルセル・マルソー国際マイム学院卒業。ニデルメイエ国立音楽院コンテンポラリーダンス科最上級クラス入学、首席卒業。フランスと日本で舞台活動を行なう。98年より拠点を日本に移しソロ活動を開始。2000年、大阪府舞台芸術奨励新人賞、大阪文化祭賞を受賞。

### advice points

- 会場は、体育館など動きやすいスペースで板面が望ましい。
- 講師の全身の動きを見るため、ステージがあると良い。

## …ワークショップを実施して…

### 講師の感想

はじめは少し照れや遠慮があったようだったが、少しずつ慣れていけば、身体をつかって表現する楽しさにどんどん入っていき、とても表現力豊かにやってくれたと思う。全身をつかって表現するパントマイムの世界は、みんなにとって身近なもので、臆することなく作品を発表できたりと、何か新しいものを手に入れたようにみえて、良かったと思った。

### 先生の感想

一見身軽に感じられる動きが、実際には非常にエネルギーを使うものであること、十分な訓練が必要であることが体感できた。受講後、生徒たちは教室でもパントマイムや、ハンガーラックをネットにして風船バレーをしている。全校的な取り組みで、グループ表現などに発展させていけば、コミュニケーション力や、集団づくりに役立つと感じた。

### 生徒の感想

- ・本当にリアルだった。何も無いのに本当に何かがあるように見えて、目を奪われたって感じ。
- ・表現力や集中力が必要なこと、人に感動や楽しさを伝えると学べた。
- ・見るのは楽しく、するのは難しい。自分でするのは、ホント体力と想像力が必要なんだと思い知らされた。

### より発展的な ワークショップを 実施するために

- 日常の色々な動きをパントマイムに変えて表現してみる。
- 友達との意思の伝達にパントマイムを使ってみる。